

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	総合政策学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学部教育活性化推進委員会のもとで複数教員の参加によるシンポジウム等を定期的開催する	→シンポジウム等の開催回数	A
2. 適切な特定プロジェクト研究センターの立ち上げ及び見直しにより共同研究を推進する	→特定プロジェクト研究センターの研究会等の開催回数	B
3. 学部研究会の開催により教員の研究分野の相互理解を促進する	→学部研究会の開催回数、出席者数	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

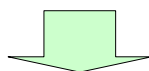
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 理念・目的の実現のために設定した上記1～3の事業を適切に実行している。これらの事業は、学術の進展や社会からの要請に対応できるものである。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 予算編成や決算の際に、学部や研究会の運営の適切性を検討し、改善を行っている。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



#### 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

<b>【点検・評価 (2)】改善すべき事項</b>	
小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	
↓	
<b>【次年度に向けた方策(2)】改善方策</b>	
小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎自由記述

<b>【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】</b>	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

**【学外委員】**  
 ○学部教育活性化推進委員会や学部研究会により、教員が積極的に活動していることは評価されます。

**【学内委員】**  
 ○理念・目標の実現ために、学部教育活性化推進委員会によるシンポジウム等の開催、共同研究の推進、学部研究会の開催などが行われていることは多としますが、問題はそれらが如何に体系的に行われ、有意義な結果をもたらすかということでしょう。  
 ○実行しているので評価できます。特に各教員の研究分野の相互理解は、現在以上に必要な学部であると考えられるので、より推進することが求められます。  
 ○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことのわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ (小項目4.0.1) また、学部研究会を組織し、さらにプロジェクト研究センターを立ち上げることにより、教員同士の研究分野の相互理解、研究交流にも努めている。  
 (小項目4.0.2) また、将来構想検討委員会では適切性を検討し、課題を抽出した上で、短期・中期・長期的な運営方針の確立をめざしている。

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

--	--

<個別的な指標>

--	--